

田邊研究員の発表に対する コメント

運輸総合研究所 客員研究員
藤村 修一

機材計画(Fleet Planning)は長期計画

ボーイング787の例

2001年 ボーイングはSonic Cruiserを提案

2002年 経済性の高い7E7に変更

2004年 ANA/JALが787を発注

2011年 ANAが787の1号機目を受領

2021年 JALが787の999号機目を受領

機材投入計画(Fleet Assignment)は Market Driven

快適性が高く、低騒音の新型機材



もっとも競争の激しいマーケット
(羽田・成田など)に投入

したがって、空港利用料が
機材選択と環境に与える影響は
極めて限定的